お願いとご注意

― 重要なお知らせ ―

SoftBank 206SH

このたびは、SoftBank 206SHをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

SoftBank 206SHをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。

本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。

SoftBank 206SHは、4G方式、3G方式、GSM方式に対応しております。

- **SoftBank 4Gは、第3.5世代移動通信システム以上の技術に対しても4Gの呼称を認めるという国際電気通信連合(ITU)の声明に基づきサービス名称として使用しています。**

●本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。

目 次

※ お問い合わせ先一覧は裏表紙に記載しています。

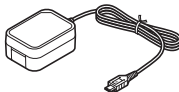
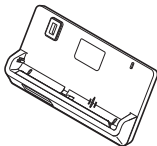
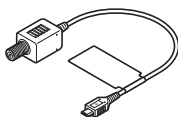
この印刷物は再生紙を使用しています。

お買い上げ品の確認

■ **206SH本体**

※電池は、本機に内蔵されています。

※本体の背面カバーは外れません。

■ **ACアダプタ(SHCEJ1)**

■ **卓上ホルダー(SHEFA1)**

■ **TVアンテナ入力用 microUSB変換ケーブル**

■ **クイックスタート**

■ **お願いとご注意(本書)**

■ **保証書(本体、ACアダプタ)**

関連情報のご紹介

■ **本機の使いかたや機能を詳しく知りたいとき**

- 本機に内蔵されている「使い方ガイド」(アプリ)をご活用ください。
  - ■ステータスバーを下にドラッグ➡通知パネルの「使い方ガイドはこちら」➡画面に従って操作
- 下記の「オンラインマニュアル」もご利用ください。
  - ■本機から:アプリケーションシートで (ブラウザ)➡ ➡ ブックマーク一覧➡オンラインマニュアル

    ※パケット通信料が必要です。
  - ■パソコンから:http://www.softbank.jp/mb/r/support/206sh/

■ **ソフトバンクモバイルホームページ**　http://www.softbank.jp

■ **外部機器連携ガイド(パソコン用)**

http://k-tai.sharp.co.jp/support/s/206sh/peripherals.html

■ **microSDカードについて**

本機はmicroSD／microSDHC／microSDXCカードを利用できます。本書ではmicroSDカード(microSDHC／microSDXCカードを含む)を、以降「SDカード」と記載いたします。

マナーとルールを守り安全に使用しましょう

ルールを守りましょう

本機の使いかたを誤ると、機器の発熱・破壊・感電といった危険を伴い、死亡または重傷を負う恐れがあります。以下の内容および「安全上のご注意」(☞21ページ)をお読みのうえ、正しくお使いください。

こんな使いかたはやめましょう

■ 端子を接触させない
端子に金属製のストラップやヘアピンなどが触れないようにしてください。ショートによる火災や故障などの原因となります。

■ 分解/改造しない
キャビネットを開けたり改造しないでください。感電やけがの原因となります。修理などはソフトバンクにご依頼ください。

■ 防水を過信しない
防水であっても、水中に沈めたり大量の水をかけると、内部に水が入り火災や感電の原因となります。また、真水以外はかけないでください。

■ 加熱しない
乾燥などの目的で、電子レンジなどの加熱調理機器に入れないでください。また、高温になる場所で使用しないでください。

■ 指定品以外は使用しない
充電器などは必ずソフトバンク指定のものをお使いください。

■ 電池の交換はソフトバンクにて
本機は電池を内蔵しています。取り扱いを誤ると、漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。
また、内蔵電池の交換については、「お問い合わせ先」(☞裏表紙)または「ソフトバンクショップ」にご相談ください。

■ 運転中は使用しない
自動車などの運転中は絶対に使用しないでください。メールを見るだけで処罰の対象となります。

こんな場所では電源を切りましょう

■ 航空機内
運航の安全に支障をきたす可能性があります(航空機内で携帯電話を使用できるときは、航空会社の指示に従い、適切にご使用ください)。

■ 病院内
医用電気機器に影響を及ぼす可能性があります。

マナーを守りましょう

**本機をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。
次のような場所では、特にご注意ください。**

■ 電車やバスなどの交通機関
車内のアナウンスや掲示に従いましょう。

■ 劇場や映画館、美術館など
周囲の迷惑にならないよう電源を切っておきましょう。

■ レストランやホテルのロビーなど
静かな場所では、大きな声での通話は控えましょう。

■ 街の中
通行の妨げにならない場所で使いましょう。

■ 混雑した場所
事前に機内モードに設定、または、電源を切ってください。付近にペースメーカなどを装着されている方がいると、誤動作などの影響を与えることがあります。

マナーを守るための便利な機能

マナーモード
着信があったりアラームが動作しても、本機から音が出ないようにします。

簡易留守録
電話に出られないとき、相手のメッセージを本機に録音します。

機内モード
電源を入れたまま、電波の送受信だけを停止します。

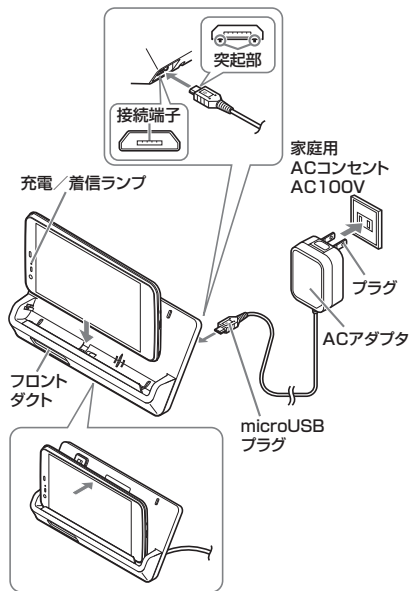
本機の充電

お買い上げ時、本機は十分に充電されていません。本機を初めて使うときは、必ず充電してから、電源を入れてください。

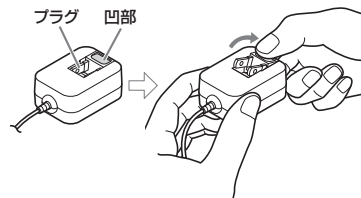
- 電池残量が少なくなっていると、電源が入らないことがあります。
- 充電しても電源が入らない場合は、ソフトバンクショップへご相談ください。

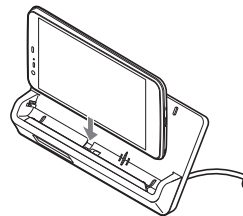
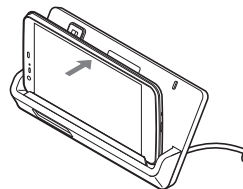
卓上ホルダーを利用する

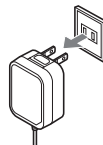
付属の卓上ホルダーとACアダプタを使用して充電します。

- 卓上ホルダーやACアダプタは、防水対応していません。本機が濡れているときは、絶対に充電しないでください。
  感電や回路のショートなどによる火災・故障・やけどの原因となります。
- 充電中は、本機やACアダプタが温かくなることがあります。

1 卓上ホルダーの接続端子にACアダプタのmicroUSBプラグを差し込む

- microUSBプラグを誤った向きに差し込むと、卓上ホルダーの接続端子が破損することがあります。
  microUSBプラグの形状と向きをよく確かめて、突起部を下にして差し込んでください。

2 ACアダプタのプラグを起こし、家庭用ACコンセントに差し込む

- 凹部に親指をかけて矢印の方向にプラグを起こします。

3 本機の充電端子を下側にして卓上ホルダーの上に置く

4 本機を矢印の方向に「カチッ」と音がするまで倒す

- 充電が始まり、充電／着信ランプが点灯します。
- 充電／着信ランプが消灯すれば、充電は完了です。

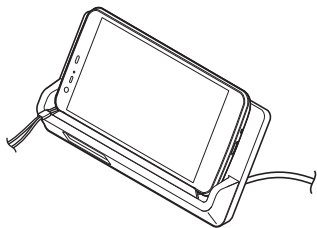
5 充電完了後は、卓上ホルダーから本機、ACアダプタのmicroUSBプラグの順に取り外し、ACアダプタのプラグを家庭用ACコンセントから抜き、プラグを元の状態に戻す

- 本機を取り外すときは、卓上ホルダーを押さえながら手前に引き出してください。

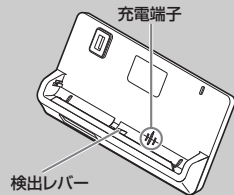
■ **フロントダクトについて**

卓上ホルダー利用時は、本機のスピーカーから出た音が卓上ホルダーのフロントダクトから聞こえます。

音楽や動画、フルセグ／ワンセグなどの音声が聞き取りやすくなります。

■ **ストラップを取り付けたまま充電するとき**

図のように、ストラップを手前方向に出してください。このとき、本機と卓上ホルダーの間に、ストラップを挟み込まないようにご注意ください。

卓上ホルダー利用時のご注意

- 踏みつけたり、重い物を載せたりしないでください。
- 充電端子を掃除するときは、検出レバーを押してください。

ACアダプタ利用時のご注意

- 充電するときを除き、プラグは倒してください。また、コードを強く引っ張ったり、ねじったりしないでください。断線の原因となります。

内蔵電池について

- 電池は本機内に内蔵されています。
- 充電しても使用時間が極端に短い場合は、内蔵電池の寿命の可能性があります。次の操作で、内蔵電池の充電能力をご確認ください。

  アプリケーションシートで （設定）➡端末情報➡端末の状態➡電池の状態

- 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、以下の保管をしないようにご注意ください。
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量がない状態（本体の電源が入らないほど消費している状態）での保管
- お客様が登録・設定した内容が消失または変化したり、本機が使用できなくなることがあります。長期間保管・放置するときは、半年に1回程度補充電を行ってください。
- 内蔵電池の使用条件によって、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れることがありますが、安全上問題はありません。
- 内蔵電池は消耗品です。十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。内蔵電池を交換してください。なお、内蔵電池は、お客様自身では交換できません。内蔵電池の交換については、「ソフトバンクショップ」などで、本機をお預かりして有料にて承ります。「お問い合わせ先」（☞裏表紙）または「ソフトバンクショップ」へご相談ください。

リチウムイオン電池について

- 本機は、リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
  - リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。
  - リサイクルのときは、ショートさせたり、分解したりしないでください。火災・感電の原因となります。

Li-ion00

充電／着信ランプが点滅しているとき

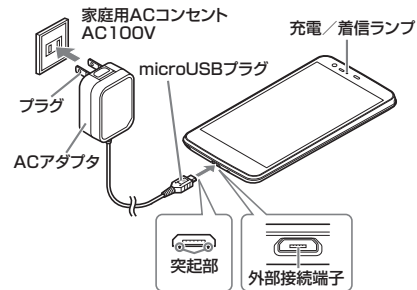
- 内蔵電池の異常または寿命のため、充電できていません。「ソフトバンクショップ」などで、内蔵電池の交換をご依頼ください。

海外での充電について

- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ACアダプタを利用する

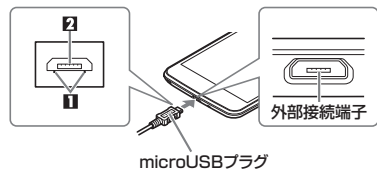
ACアダプタで充電する方法を説明します。

- ACアダプタは、防水対応していません。本機が濡れているときは、絶対に充電しないでください。
  感電や回路のショートなどによる火災・故障・やけどの原因となります。
- 充電中は、本機やACアダプタが温かくなることがあります。

- microUSBプラグを誤った向きに差し込むと、本機の外部接続端子が破損することがあります。
  microUSBプラグの形状と向きをよく確かめて、突起部を下にして差し込んでください。

PC接続用microUSBケーブル利用時のご注意

PC接続用microUSBケーブル「SHDDL1」(オプション品)で本機とパソコンを接続すると、パソコンのUSB端子からの電力で本機を充電できます。

- PC接続用microUSBケーブルを使って本機とパソコンを接続すると、自動的に本機の電源が入ることがあります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域では本機とパソコンの接続を行わないようご注意ください。
- 接続環境やパソコンの状態によっては、充電できなかったり、充電に時間がかかったりすることがあります。
- 充電時間は、家庭用ACコンセントで充電したときよりも長くなります。

■ PC接続用microUSBケーブルを接続するとき

- microUSBプラグを誤った向きに差し込むと、本機の外部接続端子が破損することがあります。プラグの形状と向きをよく確かめて、突起1と差し込み口2を下にして差し込んでください。

電池の消費を軽減する

次の操作を行うと、電池の消費を軽減できます。

1. **アプリケーションシートで (設定)**
2. **省エネ➡エコ技設定**
   - 確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。
3. **技あり／お助け**
   - 確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

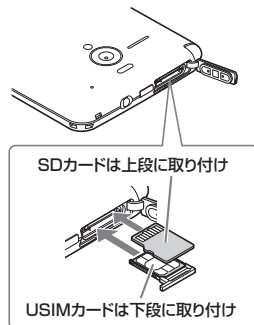
エコ技設定について

- 設定モードは、「標準」／「技あり」／「お助け」の3つから選べます。
- 「技あり」／「お助け」を選択した場合は、いくつかの機能が制限されます。また、「お助け」では画面の明るさが抑えられ、Wi-FiやGPSなどの通信機能が無効になります。
- 各モードの編集または確認をタップすると、設定内容の編集／確認ができます(「お助け」は、確認のみ行えます)。
- 設定項目「省エネ待受」では、画面消灯時バックグラウンドで動くアプリケーションの動作を制限します(アプリケーションによっては、画面消灯時に正しく動作しないことがあります)。
  「技あり」では、次の操作で制限するアプリケーションを個別に設定することもできます。
  「技あり」の編集➡「省エネ待受」の ? ➡OK➡設定するアプリケーションの制限中／動作可
- 定期的に通信をするアプリケーションの中には、「技あり」／「お助け」から「標準」に設定した場合、通信を開始しないものがあります。このときは、いったん本機の電源を切り、再度電源を入れてください。

SDカードの取り付け／取り外し

SDカードについて

■ SDカード取り付け位置について

SDカード取り付け位置は、USIMカード取り付け位置との上下2段構造となっています。
SDカードを、誤ってUSIMカード取り付け位置に差し込んだり、誤った向きで差し込んだりしないよう、ご注意ください(下図参照)。

■ microSDXCカードについて

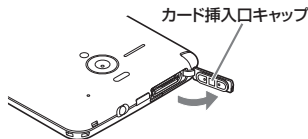
本機は、SDXC規格のSDカード(microSDXCカード)に対応しています。

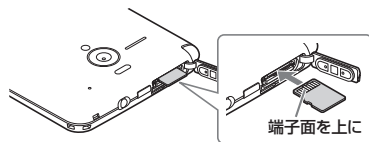
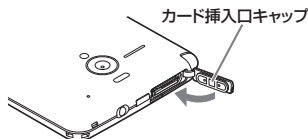
- microSDXCカードは、SDXC規格対応機器でのみご使用いただけます。
- 万一、本機で使用したmicroSDXCカードをSDXC規格非対応機器に取り付けたときは、データが破損することがあります。また、フォーマット(初期化)を促すメッセージが表示された場合は、実行しないでください。
  - ■ フォーマットすると、microSDXCカード内のデータはすべて消去され、異なるファイルシステムに書き換えられます。
  - ■ フォーマットにより、本来の容量で使用できなくなることがあります。
  - ■ データが破損したmicroSDXCカードの再使用にあたっては、SDXC規格対応機器での再フォーマットが必要です。
- 本機とSDXC規格非対応機器との間でデータをやり取りするときは、本機と相手機器の規格両方に準拠したSDカード(microSD／microSDHCカード)をご使用ください。

SDカード利用時のご注意

- SDカードを無理に取り付けたり、取り外したりしないでください。
- SDカードは、小さなお子様の手の届かない所で保管／使用してください。誤って飲み込むと、窒息する恐れがあります。
- 端子面に手や金属で触れないでください。
- SDカードの登録内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておくことをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- データの読み出し中や書き込み中は、絶対に本機の電源を切らないでください。
- データの消去や上書きなどにご注意ください。

SDカードを取り付ける

必ず電源を切ったあとで行ってください。

❶ カード挿入口キャップを開く

❷ SDカード挿入口(上段)に、SDカードを差し込む

- 端子面を上にして、SDカードを奥までゆっくりと水平に差し込みます。

❸ カード挿入口キャップを閉じる

- カード挿入口キャップは、確実に閉じてください。パッキンとの接触面に細かいゴミなどがはさまると、水が侵入する原因となります。

SDカードのマウントを解除する

SDカードを取り外すときは、必ずマウントを解除してください。

❶ アプリケーションシートで (設定)

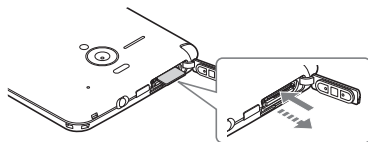
❷ ストレージ

❸ microSDのマウント解除➡OK

SDカードを取り外す

必ず電源を切ったあとで行ってください。

❶ カード挿入口キャップを開く(☞左記操作❶)

❷ SDカードを取り外す

- SDカードを軽く押し込んだあと、手を離します。SDカードが少し飛び出てきますので、ゆっくりと水平に引き抜いてください。

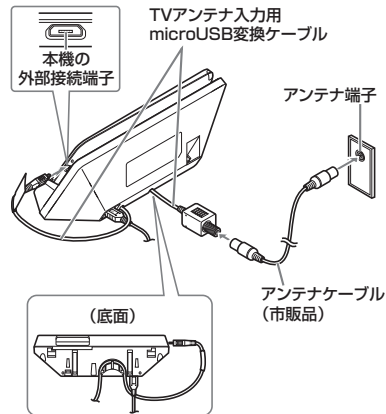
❸ カード挿入口キャップを閉じる(☞左記操作❸)

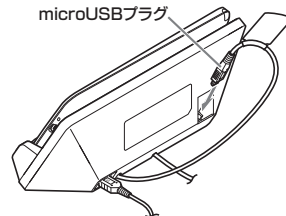
TVアンテナ入力用microUSB変換ケーブルについて

付属のTVアンテナ入力用microUSB変換ケーブルと市販のアンテナケーブル(F型接栓ケーブル)を使用して、本機と地上デジタル放送用アンテナを接続すると、安定した電波の受信状態でフルセグを視聴することができます。

- TVアンテナ入力用microUSB変換ケーブルの取り付けについて詳しくは、オンラインマニュアル(☞1ページ)を参照してください。

卓上ホルダーと組み合わせて利用する

- 本機を卓上ホルダーに取り付ける前に、TVアンテナ入力用microUSB変換ケーブルを卓上ホルダー底面の溝にはめ込んでください(下図参照)。

■ TVアンテナ入力用microUSB変換ケーブルを利用しないとき

TVアンテナ入力用microUSB変換ケーブルのmicroUSBプラグを、卓上ホルダーの背面にある穴に差し込んで収納することができます。

TVアンテナ入力用microUSB変換ケーブル利用時のご注意

- 分配器を使用すると感度劣化することがあります。
- アンテナケーブルによっては感度劣化することがあります。
- アンテナケーブルは、接続する端子の奥までしっかりと差し込んでください。
- アンテナケーブルと接続するときは、F型コネクターのピンが曲がらないようご注意ください。
- ケーブルTVは周波数の方式によっては視聴することができません。
- BSデジタル放送またはCSデジタル放送には対応していません。

防水性能について

本機の防水性能

本機は、カード挿入口キャップをしっかりと閉じた状態で、IPX5(旧JIS保護等級5)※1、IPX7(旧JIS保護等級7)※2相当の防水性能を有しています。(防塵性能は有しておりません。)

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から約12.5リットル/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところに電話機を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

- **実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。**
- **本機は、IPX5/IPX7の防水性能を有していますが、清涼飲料水、海水などが入った場合には、故障の原因となることがあります。**

本機のお取り扱いについて

- **カード挿入口キャップはしっかりと閉じてください。パッキンとの接触面に細かいゴミ(髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など)がはさまると、水が侵入する原因となります。**
- **カード挿入口キャップが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切ってください。**
- **本機が濡れているときは、乾いたきれいな布で拭き取ってください。**
- **手や本機が濡れているときに、カード挿入口キャップの開閉は絶対にしないでください。**
- **イヤホンマイク端子、外部接続端子、充電端子は、濡れていたり、砂やほこりが付着した状態でご使用にならないでください。防水性能が損なわれたり、感電や回路のショートなどによる、故障・やけど・火災の原因となります。**
- **常温(5℃〜35℃)の真水・水道水にのみ対応しています。**

使用時のご注意

- 本機に次のような液体をかけたり、つけたりしないでください。
  - ■ 石けん、洗剤、入浴剤を含んだ水
  - ■ 海水、プールの水
  - ■ 温泉、熱湯　など
- 海水やプールの水、清涼飲料水などがかかったり、ホコリ、砂、泥などが付着した場合には、すぐに常温(5℃〜35℃)の真水・水道水で洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、故障の原因となります。
- 砂や泥などがきれいに洗い流せていない状態で使用すると、本体に傷がついたり、破損するなど故障の原因となります。
- 湯船やプールなどにつけないでください。また、水中で使用しないでください(キー操作を含む)。
- 本機は耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い流水(6リットル/分を超える)を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 風呂場など湿気の多い場所には、長時間放置しないでください。また、風呂場で長時間利用しないでください。
- サウナでは使用しないでください。また、ドライヤーなどの温風はあてないでください。
- 本機は温度:5℃〜35℃、湿度:35%〜90%の範囲でご使用ください(風呂場などでの一時的な使用に限り、温度36℃〜40℃の範囲で可能)。
- コンロの脇や冷蔵庫の中など極端に高温・低温になるところに置かないでください。
- 送話口、受話口、スピーカー部の穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなることがあります。十分に水抜きと乾燥(☞15ページ)を行ったうえでご使用ください。
- 充電器・卓上ホルダー・オプション品は、防水/防塵対応していません。屋外や風呂場、洗面所など湿気の強い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 落下させるなど、本体に強い衝撃を与えたり、送話口、受話口、スピーカーなどを綿棒やとがったものでつつかないでください。防水性能が損なわれることがあります。
- 砂浜、砂場などの砂の上に直接置かないでください。受話口、スピーカーなどに砂が入り、音が小さくなる恐れがあります。
- タッチパネルに水滴が付いている状態や濡れた指でタッチ操作を行った場合、正しく動作しないことがあります。
- 結露防止のため、寒い場所から風呂場などへは本機が常温になってから持ち込んでください。万一、結露が発生したときは、取れるまで常温で放置してください。
- 本機は水に浮きません。
- 強い雨の中では使用しないでください。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- カード挿入口キャップに劣化、破損があるときは、防水性能を維持できません。これらのときは、「ソフトバンクショップ」までご連絡ください。

充電時のご注意

- 本機が濡れているときは絶対に充電しないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障・やけどの原因となります。必ず乾燥させてからお使いください。
- 濡れた手で卓上ホルダー・充電器に触れないでください。感電の原因となります。

防水性能について

- 卓上ホルダー・充電器は、水周りで使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 外部接続端子部、充電端子部に水が侵入したときは絶対に充電しないでください。
  充電する前には、必ず次の作業を行ってください。
  1 本体をしっかりと持ち、20回程度振る
  2 外部接続端子部、充電端子部のすき間に入った水分を、乾いた布などに押し当てて拭き取る
  3 乾いた布などを下に敷き、2〜3時間程度常温で放置する

防水性能を維持するために

- カード挿入口キャップのゴムパッキンは、防水性能を維持するための重要な役割を担っています。次のことにご注意ください。
  - はがしたり、傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
  - カード挿入口キャップのすき間、イヤホンマイク端子部、外部接続端子部に、先のとがったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、水が侵入する原因となることがあります。
  - カード挿入口キャップが傷ついたり、変形したりしたときは、「ソフトバンクショップ」にご相談ください。
- 防水性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回、カード挿入口キャップを交換することをおすすめします。お客様ご依頼によるカード挿入口キャップの交換は、本機をお預かりして有料にて承ります。「お問い合わせ先」(☞裏表紙)または「ソフトバンクショップ」へご相談ください。

本機の洗いかた

本機に汚れ、ホコリ、砂、清涼飲料水などが付着したときは、汚れを軽く布で除去し、やや弱めの水流[6リットル/分以下、常温(5℃〜35℃)の水道水]で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。カード挿入口キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください。よく乾燥したあと、電源を入れてください。

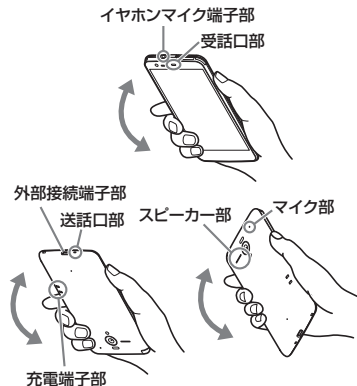
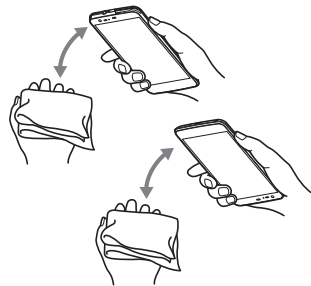
- カード挿入口キャップが、きちんと閉まっていることを確認してから洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- イヤホンマイク端子部、外部接続端子部は、特にホコリや砂などの汚れが付着しやすい部位です。汚れを残さないようしっかりと洗い流してください。また、水洗い後は十分に乾燥したことを確認したうえでご使用ください。砂や水滴が端子部に残ったままの状態でご使用になりますと、故障・やけど・火災の原因となります。
- イヤホンマイク端子部、外部接続端子部を洗うときは、綿棒などの道具を使用したり、布を端子内部に押し込んだりしないでください。防水性能が損なわれるなど、故障の原因となります。
- 乾燥のために電子レンジには絶対入れないでください。内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。また、本機を発熱・発煙・発火させたり回路部品を破壊させる原因となります。
- 乾燥のためにドライヤーの温風をあてたり、高温環境に放置しないでください。本機の変形、変色、故障などの原因となります。

水抜きのしかた

水に濡れたあとは、必ず「イヤホンマイク端子部」、「受話口部」、「外部接続端子部」、「送話口部」、「充電端子部」、「スピーカー部」、「マイク部」の水抜きを行ってください。

- 本機を振るときは、落とさないようにしっかりと握ってください。

❶ 本機表面の水分を乾いた布などで拭く

❷ 本機をしっかりと持ち、20回程度振る

❸ 各部のすき間に入った水分を、乾いた布などに押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水がたまっていることがありますので、開口部に布を当て、軽くたたいて水を出してください。
- 開口部の水を抜く際は、布や綿棒などを内部に押し込んだりしないでください。

❹ 乾いた布などを下に敷き、2〜3時間程度常温で放置する

水抜き後のご注意

- 水滴が付着したままで使用しないでください。
  - 通話不良となったり、衣服やカバンなどを濡らしてしまうことがあります。
  - イヤホンマイク端子、外部接続端子などがショートする恐れがあります。
  - 寒冷地では凍結し、故障の原因となることがあります。

暗証番号について

本機の使用にあたっては、次の暗証番号が必要となります。

操作用暗証番号	各機能を利用するときの暗証番号です(お買い上げ時は設定なし)。
ロックNo.	画面ロックの解除を行うときに使う暗証番号です。
交換機用暗証番号(発着信規制用暗証番号)	ご契約時の4ケタの番号です。契約内容の変更、オプションサービスを一般電話から操作するとき、発着信規制サービスの設定を行うときに使います。

暗証番号はお忘れにならないよう、他人に知られないようご注意ください。

他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要となります。詳しくは、ソフトバンクモバイルホームページ(☞1ページ)を参照してください。

暗証番号の入力間違いについて

- 各機能で暗証番号の入力を間違えると、間違いを知らせるメッセージが表示されます。操作をやり直してください。
- 交換機用暗証番号(発着信規制用暗証番号)の入力を3回間違えたときは、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。このときは、交換機用暗証番号(発着信規制用暗証番号)の変更が必要となりますのでご注意ください。
  - ■ 以前、携帯電話から発着信規制用暗証番号を変更されたお客様は、発着信規制を設定する際に、その変更後の番号を入力してください。

操作用暗証番号を設定する

1. アプリケーションシートで (設定)
2. その他の設定
3. ロックとセキュリティ
4. 操作用暗証番号設定→OK
5. 設定する操作用暗証番号入力→OK
6. 設定する操作用暗証番号を再度入力→OK
7. OK

PINコードについて

PINコードとは、USIMカードの暗証番号です。第三者による本機の無断使用を防ぐために使います(USIMカードお買い上げ時は「9999」に設定されています)。

- 電源を入れたとき、PINコードを入力しないと本機を使用できないように(USIMカードをロック)することができます。

PINコードを変更する(USIMカードをロック)

1. アプリケーションシートで (設定)
2. その他の設定
3. ロックとセキュリティ
4. USIMカードロック設定
5. USIMカードをロック
6. 現在のPINコード入力→OK
   - 「USIMカードをロック」にチェックが入り(USIMカードロックが有効となり)、PINコードを変更できる状態となります。
7. USIM PINの変更
8. 現在のPINコード入力→OK
9. 新しいPINコード入力→OK
10. 新しいPINコードを再度入力→OK

PINコードの入力間違いについて

- PINコードの入力を3回間違えると、PINロックが設定され、本機の使用が制限されます。

PINロックを解除するとき

- お問い合わせ先(☞裏表紙)で、「PINロック解除コード(PUKコード)」を確認のうえ、次の操作を行ってください。

  PUKコード入力→OK→新しいPINコード入力→OK→新しいPINコードを再度入力→OK

  - ■ PUKコードの入力を10回間違えると、USIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります。このときは、「ソフトバンクショップ」にてUSIMカードの再発行(有償)が必要になりますので、ご注意ください。

おもな仕様

仕様変更などにより、内容が一部異なることがあります。

206SH本体

項目	内容
質量	約159g(内蔵電池を含む)
内蔵電池容量	3,080mAh
連続通話時間※1	約1,000分(3Gモード) 約700分(GSMモード)
連続待受時間※2	約500時間(3Gモード) 約430時間(GSMモード) 約430時間(4Gモード)
フルセグ/ワンセグ連続視聴時間※3	約4.5時間(フルセグ) 約8.5時間(ワンセグ)
充電時間(本機の電源を切って充電した場合)	ACアダプタ:約280分 シガーライター充電器:約400分
サイズ(幅×高さ×奥行)	約71×140×9.9mm (突起部除く)
最大出力	3G:0.25W GSM(900MHz):2W、GSM(1800MHz,1900MHz):1W 4G:0.2W

※1 連続通話時間とは、電池の充電を満たし、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。

※2 連続待受時間とは、電池の充電を満たし、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。データ通信/緊急速報メールを無効に設定したときの数値です。また使用環境(充電状況、気温など)や機能の設定状況などにより、ご利用時間が変動することがあります。

※3 フルセグ/ワンセグ連続視聴時間とは、電池の充電を満たし、サウンド設定「ナチュラル」、横画面フルスクリーン表示、別売のマイク付ステレオイヤホンを使用し、音量最大、電池残量約10%を残した計算値です。電波状況、再生コンテンツにより、ご利用時間が変動することがあります。ワンセグ視聴時は「ワンセグ固定」設定としています。

- 左記の時間は、エコバックライトコントロールを「OFF」、アウトドアビューを「OFF」、画面の明るさを「21段階中の11段階目」に設定したときの数値です。
- お使いの場所や状況、設定内容によって、左記の時間は変動します。
- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますので、あらかじめご了承ください。

付属品

■ ACアダプタ(SHCEJ1)

項目	内容
電源	AC100V-240V、50/60Hz共用
消費電力	9W
出力電圧/出力電流	DC5.0V/1.0A
充電温度範囲	5℃~35℃
サイズ(幅×高さ×奥行)	約40×53×23mm (突起部、コード除く)
コードの長さ	約1.5m

■ 卓上ホルダー(SHEFA1)

項目	内容
入力電圧/入力電流	DC5.0V/1.0A
出力電圧/出力電流	DC5.0V/1.0A
充電温度範囲	5℃~35℃
サイズ(幅×高さ×奥行)	約158×71×55mm

■ TVアンテナ入力用microUSB変換ケーブル

項目	内容
ケーブルの長さ	30cm

使用材料

206SH本体

使用箇所	使用材料/表面処理
キャビネット(ディスプレイ側)	PA樹脂+GF樹脂/塗装、UV塗装
背面カバー ※ ラスターホワイト/ブルー	PC樹脂/塗装、UV塗装、印刷
背面カバー ※ ブラック	PC樹脂/塗装、印刷、触感塗装
カード挿入口キャップ	PC樹脂+エラストマー樹脂/塗装、UV塗装
カード挿入口キャップ(パッキン部)	シリコンゴム+ステンレス
電源キー	PC樹脂/塗装、UV塗装、印刷
テレビアンテナキャップ	PC樹脂+ABS樹脂/塗装、UV塗装
テレビアンテナ(エレメント部)	ステンレス+NiTi合金
テレビアンテナ(取り付け部)	亜鉛/無電解Niメッキ
テレビアンテナ(取り付けネジ)	ステンレス/不動態化処理
イヤホンマイク端子	PA樹脂+GF樹脂
ディスプレイ	強化ガラス/裏面印刷
飛散防止シート	PET/裏面多層膜蒸着、裏面印刷
カメラ窓	アクリル樹脂+PC樹脂/表面防汚処理、裏面印刷
赤外線ポート	ABS樹脂
モバイルライト窓	PC樹脂
スピーカーメッシュ	ナイロン樹脂
外部接続端子	ステンレス/錫メッキ
充電端子	ステンレス/金メッキ
USIMトレイ	POM樹脂

付属品

■ ACアダプタ(SHCEJ1)

項目	内容
使用材料/表面処理	PC樹脂+MBS樹脂+PBT樹脂+TPE樹脂+銅合金+SUS/Niメッキ

■ 卓上ホルダー(SHEFA1)

項目	内容
使用材料/表面処理	ABS樹脂/金メッキ

卓上ホルダーの材料について

- 卓上ホルダーの一部に使用の材料は、植物由来の樹脂を含んだ成形品で、従来の石油系樹脂と比べて、ライフサイクル全体のCO_2排出量、石油使用量を減らすことのできる環境に優しい新素材です。

■ TVアンテナ入力用microUSB変換ケーブル

項目	内容
使用材料/表面処理	LCP樹脂+鉄+黄銅+ガラエポ/Niメッキ

ソフトウェア更新

ネットワークを利用して本機のソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには手動で更新できます。

- お買い上げ時は「自動更新する」に設定されています。

ソフトウェア更新を行う前に

- 本機の状況(故障・破損・水濡れなど)によっては、保存されているデータが破棄されることがあります。必要なデータは、ソフトウェア更新前にバックアップしておくことをおすすめします。なお、データが消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ソフトウェア更新についてのご注意

- 更新が完了するまで、本機は使用できません。
- 電波状態のよい所で、移動せずに操作してください。また、電池残量が十分ある状態で操作してください。更新途中に電波状態が悪くなったり、電池残量がなくなると、更新に失敗することがあります(更新に失敗すると本機が使用できなくなることがあります)。
- 他の機能を操作しているときは、ソフトウェア更新は行えません。
- 本機にPC接続用microUSBケーブル(オプション品)を接続しているときは、取り外してください。そのままでソフトウェア更新を実行すると、正しく完了できないことがあります。

手動でソフトウェア更新する

1. アプリケーションシートで (設定)
2. 端末情報
3. ソフトウェア更新
4. ソフトウェア更新➡実行
   - 以降は、画面に従って操作してください。

自動更新の開始時刻を変更するとき

- 操作4で更新時刻設定をタップし、開始時刻を変更します。

■ ソフトウェア更新が完了すると

ソフトウェア書き換え完了画面が表示されたあと、自動的に再起動します。

- 再起動後、更新完了のメッセージとインフォメーションが表示されます。

ソフトウェア更新後に再起動しなかったとき

- 本機を再起動(強制的に電源を切る:☞37ページ)してください。それでも起動しないときは、ご契約のソフトバンクの故障受付(☞裏表紙)にご相談ください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。

- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、**「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」**内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、**「死亡または重傷を負う可能性が想定される」**内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、**「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」**内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示します。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、USIMカード、充電器（オプション品含む）、卓上ホルダー、TVアンテナ入力用microUSB変換ケーブル、PC接続用microUSBケーブル（オプション品）、SDカード（オプション品）の取り扱いについて（共通）

危険

本機に使用する充電器（オプション品含む）・卓上ホルダー・PC接続用microUSBケーブル（オプション品）は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。

指示

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。
火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。
本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

分解禁止

本機内部・充電器・卓上ホルダーを濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が本体内部に入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れたまま充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。
使用場所、取り扱いにご注意ください。

水濡れ禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。
また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。
機器の変形・故障や内蔵電池の漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

禁止

本機に充電器をうまく取り付けできないときは、無理に行わないでください。microUSBプラグの向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。
内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

禁止

警告

本機のディスプレイ部には強化ガラスを使用していますが、落下などによる衝撃や無理な力は加えないでください。
ディスプレイが破損し、ガラスが鋭利な破片となって、激しく飛散する恐れがあります。万一、破損した場合は、破片や破損部分に直接手を触れないようご注意ください。けがの原因となります。

禁止

本機・充電器・卓上ホルダーを、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。
内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、本機・充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

禁止

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。
ガスに引火する恐れがあります。ガソリンスタンド構内などでNFC（おサイフケータイ®を含む）対応携帯電話をご利用になる際は、電源を切った状態で使用してください（NFC（おサイフケータイ®を含む）をロックされている場合は、ロックを解除した上で電源をお切りください）。

指示

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。
内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

禁止

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。
1. コンセントやシガーライターソケットから充電器を持ってプラグを抜いてください。
2. やけどやけがに注意して、本機の電源を切ってください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

指示

充電端子や外部接続端子に、ペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障などの原因となります。

禁止

本機が濡れている状態で絶対に充電しないでください。
感電や回路のショートなどによる火災・故障・やけどなどの原因となります。

禁止

乾燥などの目的で、ドライヤーなどの温風をあてないでください。また、サウナに持ち込んだり、熱湯をかけたりしないでください。
内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、本機・充電器・卓上ホルダーの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

禁止

注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落下して、けがや故障などの原因となります。バイブレータ設定中や充電中は、特にご注意ください。

禁止

乳幼児の手の届かない場所やペットが触れない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

指示

内蔵電池の取り扱いについて

危険

電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ionOO	リチウムイオン電池

火の中に投下しないでください。
内蔵電池を漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。
内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

禁止

内蔵電池内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。
失明などの原因となります。

指示

警告

内蔵電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示

本機の使用中・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して火気から遠ざけてください。
異常な状態のまま使用すると、内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示

ペットが本機に噛みつかないようご注意ください。また、ペットが噛みついた本機は使用しないでください。
内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。

指示

注意

不要になった本機を、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
電池を内蔵していますので、最寄りの「ソフトバンクショップ」へお持ちください。適切に処理いたします。

禁止

本機の取り扱いについて

警告

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。
交通事故の原因となります。
乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。
運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

禁止

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

指示

※ **ご注意いただきたい電子機器の例**
補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。
機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。

指示

心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション(振動)や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える恐れがあります。

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。

落雷や感電の原因となります。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光しないでください。

禁止

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

注意

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。

禁止

本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。

指示

本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります(使用材料:☞19ページ)。

本機に磁気カードなどを近づけないでください。

禁止

キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

ストラップ・テレビアンテナなどを持って本機を振り回さないでください。

禁止

本人や周囲の人に当ったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。

指示

長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。

禁止

難聴になる可能性があります。

フルセグ／ワンセグを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。

視力低下につながる可能性があります。

イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。

指示

長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳を痛めたりする原因となります。

充電器(オプション品含む)、卓上ホルダーの取り扱いについて

警告

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもって火災や故障などの原因となります。

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。

禁止

指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。

- ACアダプタ:AC100V～240V(家庭用ACコンセント専用)
- シガーライター充電器(オプション品):DC12V・24V(マイナスアース車専用)

また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

長時間使用しない場合は、充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

感電・火災・故障の原因となります。

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持って、コンセントやシガーライターソケットからプラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

感電・発煙・火災の原因となります。

プラグにほこりがついたときは、充電器を持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などで拭き取ってください。

火災の原因となります。

充電器をコンセントに差し込むときは、充電器のプラグや端子および卓上ホルダーの端子に導電性異物(鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど)が触れないように注意して、確実に差し込んでください。

感電・ショート・火災などの原因となります。

濡れた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。

濡れ手禁止

感電や故障などの原因となります。

雷が鳴り出したら、充電器には触れないでください。

禁止

感電などの原因となります。

卓上ホルダーを自動車内で使用しないでください。

禁止

過大な温度と振動により、火災・故障の原因となります。

充電器や卓上ホルダーは、風呂場や洗面所など湿気の強い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。

火災・感電・故障の原因となります。

シガーライター充電器(オプション品)は、マイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。

火災などの原因となります。

シガーライター充電器(オプション品)のヒューズが切れたときは、必ず指定のヒューズに交換してください。

指定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。指定のヒューズに関しては、シガーライター充電器の取扱説明書でご確認ください。

注意

お手入れの際は、コンセントやシガーライターソケットから、必ず充電器を持ってプラグを抜いてください。

感電などの原因となります。

充電器をコンセントやシガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らず、充電器を持ってプラグを抜いてください。

指示

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。

充電器をコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。

けがや故障の原因となります。

充電中は卓上ホルダーの充電端子に長時間触れないでください。

低温やけどになる恐れがあります。

充電端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。

感電・傷害・故障の原因となります。

TVアンテナ入力用microUSB変換ケーブルの取り扱いについて

危険

雷が鳴っているときは、TVアンテナ入力用microUSB変換ケーブルを絶対に接続しないでください。

感電、発火、火災などの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会[平成9年4月])に準拠、また「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」(総務省〔平成25年1月〕)の内容を参考にしたものです。

警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、身動きが自由に取れないほど混雑した状況等、15cm以上離隔距離を確保できない恐れがある場合には、事前に通信機能が使用できない状態(例:機内モード)に切り替えるか、または携帯電話の電源をお切りください。電源が自動的に入るアプリケーションをインストールしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

指示

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- 手術室・集中治療室(ICU)・冠状動脈疾患監視病室(CCU)には、本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機の電源を切ってください。
- ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

ご利用にあたって

- USIMカードや、USIMカード装着済みの本機を盗難・紛失された場合は、必ずお問い合わせ先(☞裏表紙)までご連絡のうえ、緊急利用停止の手続きを行ってください。
- 事故や故障、修理などにより本機／SDカードに登録したデータ(電話帳・音楽・静止画・動画など)や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、周囲の人たちの迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受(ぼうじゅ)にご注意ください。**
  本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
  - 傍受とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。
- インターネットのサイトには、悪質なものや有害なものがあります。特に、個人情報の書き込みなどは慎重に行いましょう。
- 本機を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがありますが、旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。
  米国輸出規制により本機をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。
- 本機では、Google Inc.が提供する「Google Play™」上より、さまざまなアプリケーションのインストールが可能です。お客様ご自身でインストールされるこれらのアプリケーションの内容(品質、信頼性、合法性、目的適合性、情報の真実性、正確性など)およびそれに起因するすべての不具合(ウイルスなど)につきましては、当社は一切の保証を致しかねます。

高温時のご注意

- 操作方法や使用環境によっては、本機の内部温度が高くなり、熱くなることがあります。その際には安全のため、充電が停止したり、画面の明るさが調整される場合があります。
  また、内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示されたあと、約3分後に電源が切れますのでご注意ください。この場合には、本機の内部温度を下げるため、すべてのアプリケーションを終了してから、画面を消灯してください。
- カメラ使用時は、内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示された約1分後に、撮影データを保存し、自動終了します。

技術基準適合証明について

本機は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合しています。次の操作で、技術基準適合証明に関する情報(㊟等)を確認できます。

アプリケーションシートで (設定)➡端末情報➡技術基準適合証明

マナーモードについて

- マナーモードを設定していても、カメラ撮影時のシャッター音、ビデオカメラ撮影時の撮影開始／終了音、音楽・動画・ゲームの音などは鳴ります。

カメラについて

- カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
- 大切なシーンを撮影されるときは、必ず試し撮りを行い、画像を表示して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。
- カメラ機能を利用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者(撮影者)などの許可を得ることなく使用したり、転送することはできません。

フルセグ／ワンセグについて

- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、フルセグ／ワンセグ視聴が困難になることがあります。また、フルセグ／ワンセグ視聴中に電波状態の悪い場所へ移動すると、映像が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様のご利用環境によって電波の受信状態が異なるため、一部地域では視聴できない場合があります。受信状態の良い環境でご利用ください。
- フルセグ録画時は、TVアンテナ入力用microUSB変換ケーブルを使用した場合のみ、録画ファイルをSDカードに保存できます。TVアンテナ入力用microUSB変換ケーブルを使用していない状態では、録画ファイルは本体メモリに保存されます。
- 録画ファイルの保存先として、本体メモリまたはmicroSDXCカードのご使用をおすすめします。microSDHCカードを使用した場合、空き容量にかかわらず、録画は1回につき最大4GB(30分程度)までとなります。
- 本体メモリに保存された4GB(30分程度)以上の録画ファイルをmicroSDHCカードへ移動することはできません。

本体メモリについてのご注意

- お買い上げ時、本機で撮影した静止画や動画などのメディアファイルは、本機の本体メモリに保存されるように設定されています。
- お客様がダウンロードされたアプリケーション(市販品)によっては、保存先がSDカードと説明されている場合でも、データファイルが本機の本体メモリに保存されることがありますのでご注意ください。

通話中／通信中のご注意

- 通話中や通信中は、同時に他の機能を使用している間や各種操作を行っている間も通話料、通信料がかかりますので、ご注意ください。
- JavaScript通信は、通信料が高額になる可能性があります。

緊急速報メールについて

- お買い上げ時、受信設定は「有効」に設定されています。
- 受信時には、マナーモードであっても警告音が鳴動します。
- 通話中、通信中および電波状態が悪い場合は受信できません。
- お客様のご利用環境・状況によっては、お客様の現在地と異なるエリアに関する情報が受信される場合、または受信できない場合があります。
- 受信設定を「有効」にしている場合は、待受時間が短くなることがあります。
- 当社は情報の内容、受信タイミング、情報を受信または受信できなかったことに起因した事故を含め、本サービスに関連して発生した損害については、一切責任を負いません。

SSL／TLSについて

本機には、あらかじめ認証機関から発行された電子的な証明書が登録されており、SSL／TLS(インターネット上でデータを暗号化して送受信する通信方法)を利用できます。

- セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合は、お客様は自己の判断と責任においてSSL／TLSを利用するものとします。お客様自身によるSSL／TLSの利用に際し、ソフトバンク、シャープ株式会社および認証会社である日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社は、お客様に対しSSL／TLSの安全性などに関して何ら保証を行うものではありません。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

Wi-Fi(無線LAN)について

無線LAN(以降「Wi-Fi」と記載)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、第三者に情報を盗み見られてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

- 電気製品・AV・OA機器などの近くでは利用しないでください。通信速度の低下や通信不可、雑音などの可能性があります(特に電子レンジ使用時は、影響を受けることがあります)。
- 複数のアクセスポイントが存在するときは、正しく検索できないことがあります。

■使用上の注意事項

本機のWi-Fiの周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など(以下、「他の無線局」と略す)が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1 Wi-Fiを使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを目視で確認してください。
2 万一、Wi-Fiの使用にあたり、本機と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Wi-Fiの使用を停止(電波の発射を停止)してください。
3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。
連絡先:ソフトバンクカスタマーサポート
ソフトバンク携帯電話から　157(無料)
(一般電話からおかけの場合、裏表紙の「お問い合わせ先」を参照してください)

- **周波数帯について**
この無線機器は、2.4GHz帯と5GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS/OFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40m以下です。
次の操作で、周波数帯に関する情報を確認できます。
アプリケーションシートで (設定)➡端末情報➡認証

2.4DS/OF4

- **5GHz帯の使用チャンネルについて**
5GHzの周波数帯においては、5.2GHz／5.3GHz／5.6GHz帯(W52／W53／W56)の3種類の帯域を使用することができます。
  - W52(5.2GHz帯／36、38、40、44、46、48ch)
  - W53(5.3GHz帯／52、54、56、60、62、64ch)
  - W56(5.6GHz帯／100、102、104、108、110、112、116、118、120、124、126、128、132、134、136、140ch)

5.2GHz／5.3GHz帯(W52／W53)を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。

■Bluetooth®との同時利用について

Wi-Fi(IEEE802.11b/g/n)は、Bluetooth®と同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くでBluetooth®機器を利用したり、本機のBluetooth®が有効になっていると、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。接続に支障があるときは、Bluetooth®機器の利用を中止したり、本機のBluetooth®を無効にしてください。

- 本機のWi-Fiで設定できるチャンネルは1-13です。これ以外のチャンネルのアクセスポイントには接続できませんのでご注意ください。
- 利用可能なチャンネルは、国により異なります。
- 航空機内の使用は事前に各航空会社へご確認ください。
- フランスなど、一部の国／地域では、Wi-Fiの使用が制限されます。海外で利用するときは、その国／地域の法規制など条件をご確認ください。

Bluetooth®機能について

Bluetooth®機能の利用時に、データや情報の漏洩により発生した損害につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■使用上の注意事項

本機のBluetooth®機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など(以下、「他の無線局」と略す)が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1 Bluetooth®機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを目視で確認してください。
2 万一、Bluetooth®機能の使用にあたり、本機と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth®機能の使用を停止(電波の発射を停止)してください。
3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。
連絡先:ソフトバンクカスタマーサポート
ソフトバンク携帯電話から　157(無料)
(一般電話からおかけの場合、裏表紙の「お問い合わせ先」を参照してください)

ご利用にあたって

- **周波数帯について**

  この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。
  FH1は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
  XX4はその他方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。
  移動体識別装置の帯域を回避することはできません。
  次の操作で、周波数帯に関する情報を確認できます。

  アプリケーションシートで（設定）➡端末情報➡認証

2.4FH1/XX4

MHL接続について

本機と、MHL（Mobile High-Definition Link）規格対応機器を、MHLケーブル（市販品）で接続すると、本機の画面と同じ内容を相手機器の画面に表示することができます（MHL接続）。
また、MHL接続中は相手機器の電力で、本機を充電することができます。
ご利用にあたっては、次のことにご注意ください。

- MHL接続により、自動的に本機の電源が入ることがあります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域では接続を行わないようにご注意ください。
- 使用するMHLケーブルや相手機器によっては、十分に充電できないことがあります。ACアダプタでの充電をおすすめします。
- 本機のアプリケーションによっては、MHL接続を利用できないことがあります。
- MHL接続中は、フルセグ／ワンセグを受信できません。フルセグ／ワンセグを視聴／録画するときは、本機からMHLケーブルを取り外してください。
- MHL接続は、海外ではご利用になれません。

ワイヤレス出力について

本機と、近くにあるWi-Fi Direct規格対応機器をWi-Fi接続すると、本機の画面と同じ内容を相手機器の画面に表示することができます（ワイヤレス出力）。
ご利用にあたっては、次のことにご注意ください。

- 本機のアプリケーションによっては、ワイヤレス出力ができないことがあります。
- 本機のアプリケーションの設定によっては、ワイヤレス出力すると、アプリケーションが終了することがあります。

お取り扱いについて

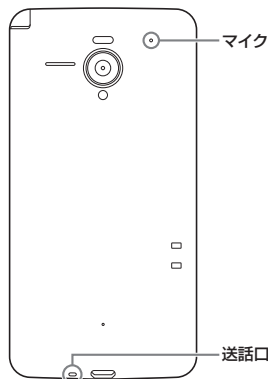
- 電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は温度：5℃～35℃、湿度：35%～90%の範囲でご使用ください（風呂場などでの一時的な使用に限り、温度36℃～40℃の範囲で可能）。
- 極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- 使用中や充電中は本機や内蔵電池が温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、画像が変色することがあります。
- 端子が汚れていると接触が悪くなり、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 本機のディスプレイを堅い物でこすったり、傷つけないようご注意ください。
- 無理な力がかからないようにお取り扱いください。故障やけがの原因となります。
  - ズボンやスカートのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり椅子などに座らないでください。特に厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - カバンなどに入れるときは、重たい物の下にならないように十分ご注意ください。
- 本体の背面カバーは取り外しできません。無理に取り外そうとすると、破損や故障の原因となります。また、防水性能を損なう原因にもなります。
- 端子に指定品以外のものは、取り付けないでください。誤動作したり、破損することがあります。
- SDカードの使用中は本機の電源を切らないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げないでください。事故の原因となります。
- 本機を手に持って使用するときは、スピーカーをふさがないようにご注意ください。

タッチパネルについて

- 次のような操作を行うと、動作しないことがあります。
  - 手袋をした指や爪の先での操作
  - ペン、ボールペン、鉛筆など先のとがったものでの操作
  - 異物をタッチパネルに載せたままでの操作
- 誤動作の原因となりますので、次の点にご注意ください。
  - 濡れた指で操作しない
  - タッチパネルに水滴がついている状態で操作しない
  - 強く押し過ぎない
  - タッチパネルに市販のシールなどを貼らない
- タッチパネルに水滴がついているときは、水滴を柔らかい布などで拭いてからご使用ください。
- タッチパネルで思うように操作できないときは、次の操作を行ってください。

  アプリケーションシートで（設定）➡端末情報➡タッチパネル補正➡画面に従って操作
- 次のようなときは、⏻を押して画面を消灯させたあと、再度⏻を押して画面を点灯させてから操作してください。
  - 画面に触れていないのに、本機が勝手に動作するとき
  - 画面に触れても、本機が反応しないとき

送話口とマイクについて

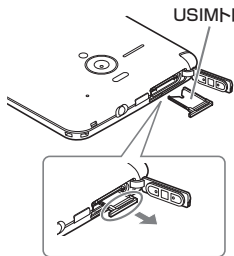
本機の送話口とマイクは次の図の位置にあります。

送話口とマイクは非常に小さいため、手で持つときにふさいでしまう可能性があります。通話するときや、動画を撮影するときなどにふさいでしまうと、感度が落ちる可能性がありますのでご注意ください。

テレビアンテナについて

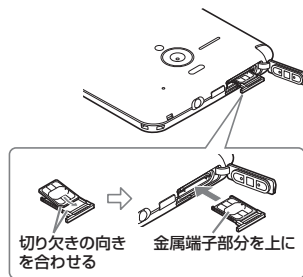
テレビアンテナは引き出して、角度を調節して利用できます。収納するときは、無理に押し込まず、角度をまっすぐにした状態で本体に近い部分を持って完全に収納してください。完全に収納しないまま持ち運ぶと、破損の原因となります。

USIMトレイについて

USIMトレイはUSIMカードを装着するために必要なトレイです。破損·紛失しないようにご注意ください。

- USIMトレイを強く引き出したり、斜めに引き出したりすると、破損の原因となります。
  USIMトレイに指をかけて、ゆっくりと水平に引き抜いてください。

USIMカードの取り付け／取り外しについて

本機にSDカードを取り付けている場合、USIMカードを取り付け／取り外しするには、あらかじめSDカードを取り外す必要があります。

- USIMカード取り付けの際は、次の点に注意して行ってください。
  - ■ USIMカードはUSIMトレイに取り付け、取り付け位置（☞9ページ）に注意し、金属端子部分を上にして、USIMトレイごと奥までゆっくりと水平に差し込む

イヤホンマイクについて

市販品のイヤホンマイクを使用すると、正常に動作しない場合があります。指定品のマイク付ステレオイヤホン「SHLDL1」（オプション品）をお使いください。

- イヤホンマイク使用時、イヤホンマイク端子部に強い負荷をあたえると防水性能が損なわれることがありますのでご注意ください。

強制的に電源を切る

本機が動作を停止したり入力を受け付けなくなったりした場合に、強制的に電源を切ることができます。

⏻（11秒以上長押し）

- バイブレータが2回動作したあと、電源が切れます。
  - ■ バイブレータが1回動作したあと、⏻を離すと、本機が再起動します。

オールリセットについて

オールリセットすると、本機のシステムメモリのデータがすべて消去されます（お買い上げ時にインストールされている一部のアプリケーションも含みます）。リセットした内容は、元に戻せませんので、十分にご確認のうえ操作してください。

アプリケーションシートで（設定）➡その他の設定➡オールリセット➡オールリセット➡操作用暗証番号入力➡OK➡携帯端末をリセット➡すべて消去

- ■ 本体内データを消去にチェックを入れてオールリセットを実行すると、本体メモリに保存されたデータもすべて消去されます。
- ■ microSD内データを消去にチェックを入れてオールリセットを実行すると、SDカードに保存されたデータもすべて消去されます。

Picasa™ウェブアルバムログインについてのご注意

Picasaウェブアルバムへのログイン用に設定しているGoogle™アカウントを、本機のGoogleアカウントとして登録してください。本機にGoogleアカウントを登録したあとに、そのGoogleアカウントを入力してPicasaウェブアルバムのアカウントを新規に取得しても、Picasaは本機のGoogleアカウントの同期項目には表示されません。

知的財産権について

肖像権について

- 他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権(パブリシティ権)があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮って公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

著作権について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。この目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製(データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本機には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
次の操作で、当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細を確認できます。
アプリケーションシートで (設定)➡端末情報➡法的情報➡オープンソースライセンス
- GPL、LGPL、Mozilla Public License(MPL)に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。
詳細は下記サイトをご参照ください。
https://sh-dev.sharp.co.jp/android/modules/oss/

動画の撮影/再生の技術には「MPEG-4」が使われています。
This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and noncommercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use.
Additional information may be obtained from MPEG LA.
See http://www.mpegla.com.
This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC.
See http://www.mpegla.com for additional details.
本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(ⅰ)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ⅱ)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。

本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(ⅰ)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ⅱ)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および/またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Excel®、PowerPoint®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft® Excel®、Microsoft® Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。

Bluetooth® is a trademark of the Bluetooth SIG, Inc.

The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Sharp is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.
Bluetooth®は、米国Bluetooth SIG,Inc.の登録商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

microSD、microSDHC、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

aptXはCSR plc.の登録商標です。

この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよび ® は、シャープ株式会社の登録商標です。

「GREE」および「GREE」ロゴは、グリー株式会社の登録商標または商標です。

「Mobage」および「Mobage」ロゴは、株式会社ディー・エヌ・エーの登録商標または商標です。

本製品は、無線LAN標準規格のIEEE802.11に基づき、無線LAN機器の相互接続性を保証するためにWi-Fi Alliance®が定めている認証テストをパスしており、「Wi-Fi CERTIFIED™」という認定が与えられています。IEEE802.11a/b/g/n(2.4GHz／5GHz)/ac※に対応しております。

※ IEEE802.11acドラフト版に対応しています。今後の正式規格対応商品や他社のドラフト版対応商品とは通信できない場合があります。対応商品については次のサイトをご覧ください。
http://k-tai.sharp.co.jp/support/s/206sh/peripherals.html#!/wlan

Wi-Fi Protected Setup™(WPS)で、無線LANの接続設定内容(SSIDや認証方式、暗号キーなど)をプッシュボタン方式、PINコード入力方式で設定できる機能を有しています。

Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fi Protected Access®(WPA)、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、Wi-Fi Protected Setupロゴはwi-Fi Allianceの登録商標です。
Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Direct™、Wi-Fi Protected Setup™、WPA2™、Miracast™はWi-Fi Allianceの商標です。

Google 、Google ロゴ、Android™ 、Android ロゴ、Google Play 、Google Play ロゴ、Android マーケットロゴ、Google+™ 、Google+ ロゴ、Gmail™ 、Gmail ロゴ、Google マップ™ 、Google マップ ロゴ、Google トーク™ 、Google トーク ロゴ、Google マップ ナビ™ 、Google マップ ナビ ロゴ、Google+ ローカル™ 、Google Chrome™ 、Chrome ロゴ、Google 音声検索™ 、Google 音声検索 ロゴ、Picasa 、Picasa ロゴ、YouTube™ およびYouTube ロゴは、Google Inc. の商標です。

DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™ は、Digital Living Network Alliance の商標です。
DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
本機のDLNAの認定はシャープ株式会社が取得しました。

MHLロゴ、MHLおよびMobile High-Definition LinkはMHL, LLCの商標または登録商標です。

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

This product includes cryptographic software written by Eric Young(eay@cryptsoft.com)
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

Portions Copyright © 2004 Intel Corporation
この製品には Intel Corporation のソフトウェアを一部利用しております。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd.2008-2013 All Rights Reserved.
iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2013 All Rights Reserved.

本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ Mを搭載しています。*新ゴは株式会社モリサワの登録商標です。

TouchSense® Technology and TouchSense® System 3000 Series, and TouchSense® System 5000 Series Licensed from Immersion Corporation. TouchSense® System 3000 Series, TouchSense® System 5000 Series, Integrator and other Immersion software contained herein are protected under one or more of the U.S. Patents found at the following address www.immersion.com/patent-marking.html and other patents pending.

「GALAPAGOS」、「GALAPAGOS STORE」、「AQUOS PHONE」、「AQUOS PHONE」ロゴ、「アクオス」、「AQUOS」、「AQUOS」ロゴ、「Feel UX」、「ベールビュー」、「VeilView」、「ファミリンク」、「FAMILINK」、「MediaJet」、「エコ技」マーク、「エコ技」、「SH SHOW」、「文辞技」、「アウトドアビュー」、「クイックツールボックス」、「エコバックライトコントロール」、「Sweep ON」、「Shake OFF」、「Bright Keep」、「Hello answer」はシャープ株式会社の商標または登録商標です。

- 「ジーニアス和英辞典MX第2版」©MINAMIDE Kosei, NAKAMURA Mitsuo and Taishukan, 2012
- 「ジーニアス英和辞典MX増補版」©MINAMIDE Kosei, NAKAMURA Mitsuo and Taishukan, 2012
- 「明鏡国語辞典MX第二版」©KITAHARA Yasuo and Taishukan, 2012

PhotoScouter®は株式会社モルフォの登録商標または商標です。

「Twitter」の名称、ロゴは、Twitter, Inc. の登録商標です。

「スグデコ！」は株式会社アイフリークの登録商標です。

UULA®は株式会社UULAの登録商標です。

MyScript® Stylus Mobileは、ビジョン･オブジェクツS.A.(ビジョンオブジェクツ)の商標です。
MyScript® Stylus Mobile is a trademark of VISION OBJECTS.

Facebook®およびFacebookロゴは、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。

McAfee およびその他のマークは、米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。セキュリティを連想させる赤はMcAfeeブランド製品独自の色です。

AOSS™は株式会社バッファローの商標です。

Internet SagiWallは、BBソフトサービス株式会社の商標または登録商標です。

「モバイルSuica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

Powered by emblend Copyright 2009-2010 Aplix Corporation. All rights reserved.
emblendは、日本における株式会社アプリックスの製品名です。

内蔵音声認識エンジンは、株式会社アドバンスト･メディアのAmiVoiceを使用しています。AmiVoiceおよびAmiVoiceのロゴマークは株式会社アドバンスト･メディアの登録商標です。

Copyright © 1999-2012 PayPal. All rights reserved.

「Yahoo!」および「Yahoo!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

音声コーデックには Jean-Marc Valin/Xiph.Org Foundation の Speex を使用しています。
© 2002-2003, Jean-Marc Valin/Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
Copyright © 2012 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
FeliCa is a contactless IC card technology developed by Sony Corporation.
FeliCa is a trademark of Sony Corporation.

「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

デコレメール、S!メール、楽デコ、カバコレ、スマセレはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。

©SoftBank Mobile Corp. /Powered by MediaDo

SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

その他の記載している会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

携帯電話機の比吸収率※1(SAR)について

この機種【206SH】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準※1は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)について、これが2W/kg※2の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
この携帯電話機【206SH】の、SARは0.477W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

側頭部以外の位置でご使用になる場合

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用になるなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインに適合します※3。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 平成9年に(旧)郵政省電気通信技術審議会により答申された「電波防護指針」に規定されています。
※3 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に情報通信審議会より答申されています。

電波ばく露の影響に関する情報として、米国連邦通信委員会(FCC)の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

「米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」
米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。
測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、下記のとおりに従って身体に装着した場合は0.50W/kgです。
身体装着の場合：この携帯電話機【206SH】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.0センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.0センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。
上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。
比吸収率(SAR)に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety (英文のみ)
http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」
この携帯電話機【206SH】は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSARの許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.402W/kgです。
SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。
世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関(英文のみ)
http://www.who.int/emf
SoftBank スマートフォン 各機種の電波比吸収率(SAR) 一覧はこちら
http://mb.softbank.jp/mb/support/sar/

保証とアフターサービス

■ 保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書がついております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ(電話帳／音楽／静止画／動画など)や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

■ アフターサービスについて

修理を依頼される場合、お問い合わせ先(☞裏表紙)または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。

その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。
- 本機の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、生産打ち切り後6年です。

アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先(☞裏表紙)までご連絡ください。

Quick Tips

Before Using Handset

Charge handset before powering on for the first time (not adequately charged at time of purchase).

- Handset may not power on when charge is low.
- If handset does not power on even after charging, contact a SoftBank Shop.

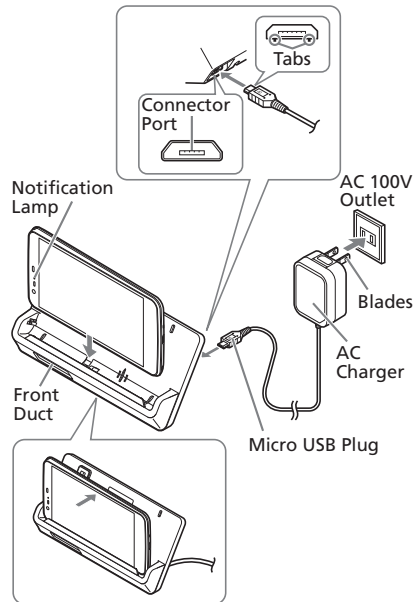
Accessories

- Desktop Holder (SHEFA1)
- AC Charger (SHCEJ1)
- TV Input-to-Micro USB Cable

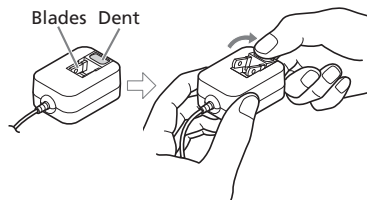
(Battery is built into handset; handset back cover is not removable.)

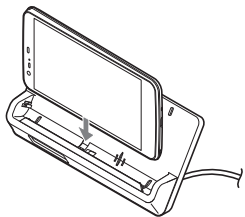
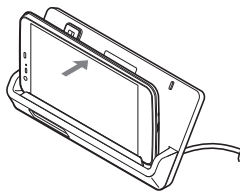
Charging (Desktop Holder)

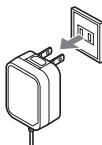
Use Desktop Holder and AC Charger.

- Desktop Holder and AC Charger are not water proof. Never charge handset while it is wet; may cause electric shock, or fire, malfunction, burns, etc. due to short-circuiting.
- Handset/AC Charger may become warm while charging.

❶ Insert Micro USB plug into connector port

- Insert Micro USB plug in correct orientation; otherwise, connector port may be damaged. Confirm contours and orientation of Micro USB plug, then insert it with tabs facing down.

❷ Extend blades and plug AC Charger into AC outlet

- Place thumb on dent and rotate blades out as shown.

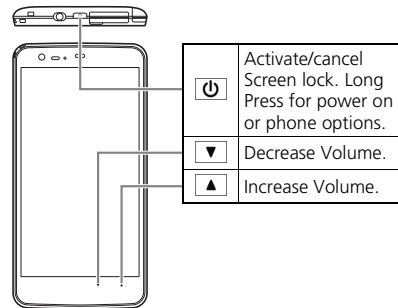
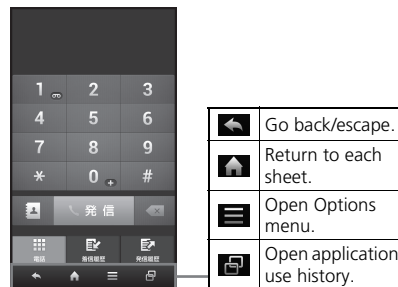
❸ Place handset into Desktop Holder with Charging Terminals facing down

❹ Tilt handset back as shown until it clicks

- Notification Lamp illuminates while charging.
- Notification Lamp goes out when charge is full.

❺ Remove handset and then Micro USB plug from Desktop Holder, then unplug AC Charger and retract blades

- To remove handset, tilt it toward you while holding Desktop Holder.

Handset Keys

Key	Function
⏻	Activate/cancel Screen lock. Long Press for power on or phone options.
▼	Decrease Volume.
▲	Increase Volume.

Navigation Bar

Key	Function
↩	Go back/escape.
⌂	Return to each sheet.
☰	Open Options menu.
⧉	Open application use history.

Basic Operations

Power On/Off

Power On

⏻ **(Long Press)**

After Powering On for the First Time
利用する ➡ **Drag** 🔓 **down** ➡ ⌂ ➡ **Change interface to English (See "English Interface" below)**

Unlocking Touchscreen
Drag 🔓 down.

Screen Lock
After a period of inactivity or Pressing ⏻, Display goes completely dark and Screen lock activates. To cancel, Press ⏻; lock screen appears.

Power Off

⏻ **(Long Press)** ➡ ***Power off*** ➡ ***OK***

English Interface

In application sheet, 🔧 (設定) ➡ ***その他の設定*** ➡ ***言語と文字入力*** ➡ ***言語 (Language) を選択*** ➡ ***English***

My Phone Number

In application sheet, 🔧 (Settings) ➡ ***Profile***

General Notes

Handset

Do not disassemble or modify handset.

Electromagnetic Safety in Europe

For body-worn operation, this mobile phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum 15 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

CE Declaration of Conformity

CE 0168 ⓘ

In some countries/regions including Europe, there are restrictions on the use of 5 GHz WLAN that may limit the use to indoors only.
If you intend to use 5 GHz WLAN on the device, check the local laws and regulations beforehand.

> Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that 206SH is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
> A copy of the original declaration of conformity for each model can be found at the following Internet address:
> http://www.sharp.co.jp/k-tai/

Battery Cautions

Use specified Charger only.
Non-specified equipment use may cause Internal Battery to leak, overheat, burst or ignite, and may cause Charger to overheat, ignite, malfunction, etc.

Battery is built into handset. Do not dispose of handset with ordinary refuse; take it to a SoftBank Shop for appropriate disposal.

Charge handset in ambient temperature 5°C - 35°C; Internal Battery may leak/overheat and performance may deteriorate outside this range.

Mobile Light

Do not shine Mobile Light in eyes.
May temporarily affect eyesight or startle, leading to accidents.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.536 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this User Guide**. In this case, the highest tested SAR value is 0.402 W/kg***. As SAR is measured utilizing the device's highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

*The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.
**Please see "Electromagnetic Safety in Europe" on P.50 for important notes regarding body-worn operation.
***A method of measuring SAR when a mobile phone is used at positions other than at the ear was established in March 2010 through an international standard (IEC62209-2). MIC technical regulation was reported in October 2011 by the Information and Communications Council.

World Health Organization
http://www.who.int/emf
List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves by smartphone model
http://mb.softbank.jp/mb/support/sar/
(Japanese)

Volume Level Caution

To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Headphone Signal Level
The maximum output voltage for Music Player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 115 mV.

5 GHz WLAN Operation in USA

Within the 5.15-5.25 GHz band, U-NII devices are restricted to indoor operations to reduce any potential for harmful interference to co-channel Mobile Satellite Services (MSS) operations.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

■FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.
The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.48 W/kg, and when worn on the body in a holder or carry case, is 0.50 W/kg.
Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/ after searching on FCC ID APYHRO00194.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/.

Customer Service

For SoftBank handset or service information, call General Information. For repairs, call Customer Assistance.

SoftBank Customer Support

General Information

- From a SoftBank handset, dial toll free at 157
- From a landline/IP phone, dial toll free at 0800-919-0157

Customer Assistance (Repairs/Lost Handsets)

- From a SoftBank handset, dial toll free at 113
- From a landline/IP phone, dial toll free at 0800-919-0113

If you cannot reach a toll free number, use the number (charges apply) below for your service area:

Hokkaido Area Tohoku Area Hokuriku Area Kanto & Koshinetsu Area	022-380-4380	Tokai Area	052-388-2002
Kansai Area	06-7669-0180	Chugoku Area Shikoku Area Kyushu & Okinawa Area	092-687-0010

Smartphone Technical Support Center

From a SoftBank handset, dial toll free at 151
From a landline/IP phone, dial toll free at 0800-1700-151

SoftBank Mobile Global Call Center

From outside Japan, dial +81-3-5351-3491 (toll free from SoftBank handsets)
If handset is lost/stolen, call this number immediately (international charges apply)

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ソフトバンクカスタマーサポート

総合案内

ソフトバンク携帯電話から 157（無料）
一般電話から フリーコール 0800-919-0157（無料）

紛失・故障受付

ソフトバンク携帯電話から 113（無料）
一般電話から フリーコール 0800-919-0113（無料）

IP電話などでフリーコールが繋がらない場合は、恐れ入りますが下記の番号へおかけください。

地域	電話番号	地域	電話番号
東日本地域	022-380-4380（有料）	東海地域	052-388-2002（有料）
関西地域	06-7669-0180（有料）	中国・四国・九州・沖縄地域	092-687-0010（有料）

スマートフォン　テクニカルサポートセンター

スマートフォンの操作案内はこちら

ソフトバンク携帯電話から 151（無料）　一般電話から フリーコール 0800-1700-151（無料）

ソフトバンクモバイル国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡

+81-3-5351-3491 （有料、ソフトバンク携帯電話からは無料）

2013年6月 第1版発行 ソフトバンクモバイル株式会社
製造元：シャープ株式会社

TCAUZA268AFZZ
13F 115.2 DS MK56①